

## トヨタ車体、ダカールラリー2017で市販車部門4連覇を目指す

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2017年1月2日にパラグアイのアスンシオンをスタートする『ダカールラリー2017 パラグアイ・ボリビア・アルゼンチン』の市販車部門に、当社が開発・生産を担うランドクルーザー200シリーズをベースにしたラリー仕様車2台で参戦し、市販車部門4連覇に挑みます。

TLCは、年を追うごとにハイスピード化するラリーに対応するため、改造が許されるサスペンションに焦点を当て、2台ともに前後サスペンションを変更して、これまでに16,000kmにわたる耐久テストをこなし、路面への追従性・ハンドリングの向上に取り組み、スピードアップを目指します。

また、チーム体制の強化にも取り組み、1号車ドライバーには、過去にダカールラリー総合順位トップ10にも入った実績をもつクリスチャン・ラヴィエル(フランス)を新たに迎え、1号車のさらなる戦闘力の向上をねらいます。加えて、前回大会で、1995年からのダカールラリー参戦以来、初めて起用した社員ドライバーの三浦 昂も2号車ドライバーとして継続参戦。クリスチャン・ラヴィエル ドライバーに指導を仰ぎながらトレーニングを重ねてきた力強い走りでも上位入賞を目指します。

そして、メカニック陣は、日本人メカニック2名を新メンバーに交代し、フレッシュな顔ぶれでレースを支えます。

なお、ラリーに使用する燃料は、環境への配慮から2007年より継続しているバイオディーゼル燃料を今回も使用します。燃料の元となる廃食油をスポンサー各社や近隣小中高校をはじめとする地域の方々、ならびに従業員の協力を得て集めるとともに、株式会社デンソーから提供していただいた藻油から精製した燃料も加え、循環型社会の仕組みの広がりに取り組んでいます。

トヨタ車体は、ダカールラリーへの挑戦を通じて、ランドクルーザーファン、クルマファンの拡大につなげるとともに、もっといいクルマづくりと人材育成を推進することで、世界中のお客様に笑顔を咲かせ、感動をお届けしてまいります。

### 1.ダカールラリー2017参戦体制

#### 【社員監督、社員ドライバー、社員エンジニアの起用による"もっといい人づくり"への挑戦】

世界を相手に過酷な環境下で悪戦苦闘の日々を送り、異文化に触れ、そして、世界中のお客様がクルマを使う道を知ること、人を鍛えて、お客様の期待を超えるもっといいクルマづくりにつなげます。

| 体制    | 氏名               | 年齢  | 備考   |
|-------|------------------|-----|--|
| チーム監督 | カクニ ヲウジ<br>角谷 裕司 | 43歳 | 1973.11.5生<br>トヨタ車体(株)広報室所属社員<br>元ハンドボール全日本代表という異色の経歴を持つ。<br>2015年よりチームを率い、冷静な判断力で<br>前回大会ではチームを3連覇に導いた。 |



| 体制           | 氏名   | 年齢  | 備考   |
|--------------|--|---|--|
| 1号車          | ドライバー<br>クリスチャン・ラヴィエール<br>Christian Lavieille<br>新 |    | 51歳<br>1965.12.16生<br>TLC契約ドライバー<br>1987年に2輪車のライダーとして競技デビュー。<br>2000年から四輪車のドライバーとしても競技を始め、<br>数々のGTカーレースやクロスカントリーラリーに参戦。<br>2003年よりダカールラリーにも参戦を始め、<br>総合8位に入った実績をもつ。 |
|              | ナビゲーター<br>ジャン・ピエール・ギャルサン<br>Jean Pierre Garcin     |    | 54歳<br>1962.12.2生<br>TLC契約ナビゲーター<br>TLC前身となるチームアラコ時代にナビゲーター<br>として活躍後、総合トップ10争いに加わるチームの<br>ナビゲーターを歴任。親しいクリスチャンドライバー<br>とのコンビで4連覇を目指す。                                |
| 2号車          | ドライバー<br>ミウラ アキラ<br>三浦 昂                           |    | 33歳<br>1983.1.26生<br>トヨタ車体(株)広報室所属社員<br>社員ナビゲーターとして2007年大会からTLCで<br>ダカールに参戦。<br>前回大会ではチーム史上初となる社員ドライバー<br>としてデビューし、市販車部門5位でフィニッシュ。                                   |
|              | ナビゲーター<br>ローラン・リヒトライター<br>Laurent Lichtleuchter    |    | 40歳<br>1976.2.16生<br>TLC契約ナビゲーター<br>世界各国のドライバーとのコンビを組んできた<br>豊富なナビゲーター経験を買い、助手席から<br>社員ドライバーの育成も担うナビゲーター。  |
| エンジニア        | イウ カミ<br>伊東 克巳                                     |  | 47歳<br>1969.9.15生<br>トヨタ車体(株)広報室所属社員<br>トヨタ車体ボデー設計部でプリウス、ノアなどの<br>外装設計を経験。<br>TLCでは、ラリーカーの開発を担う。   |
| チーム<br>メカニック | フィリップ・シャロワ<br>Philippe・Challoy                     |  | 57歳<br>1959.10.14生<br>TLC契約メカニック<br>1995年のチーム発足以来、TLCメカニック陣を<br>統括してきた敏腕チームメカニック。<br>メカニックの腕はもちろん、その人柄によりメンバーからの<br>信頼も厚い。   |
| 日本人<br>メカニック | ニシムラ ヲキ<br>西村 勇樹<br>新                              |  | 31歳<br>1985.11.4生<br>トヨタ自動車(株)より出向<br>TLCからメカニックとして初参戦。<br>トヨタではランドクルーザーの性能評価を担い、<br>ランドクルーザーのことを知り尽くす。<br>初年度からの活躍が期待される。   |
|              | 小田 裕介<br>小田 裕介                                     |  | 30歳<br>1986.9.25生<br>福岡トヨタ自動車(株)より派遣<br>普段はレクサス店のメカニックとして、レクサス車を<br>メンテナンスする高品質で的確な整備力で、<br>初参加の前回大会より活躍。  |
|              | ヤマダ ケンタ<br>山田 健太<br>新                              |  | 32歳<br>1984.11.20生<br>福岡トヨタ自動車(株)より派遣<br>TLCからメカニックとして初参戦。<br>ディーラーでの経験を活かした丁寧かつスピーディーな<br>整備力で、初参加であるが活躍が期待される。   |

※その他、フランス人のメカニックやカミオン(部品輸送トラック)のスタッフを含む 計20名体制で参戦

## 2.ダカールラリー2017参戦車両

例年行っているモロッコ王国での砂丘テストとラリー参戦による実戦トレーニングに加え、新たにロシア(モスクワ)から中国(北京)へ横断する10,000kmもの距離を走るシルクウェイラリーに参戦し、実戦でのテストを一層充実。新しく導入したサスペンションの味付けと耐久性の評価を中心に、その他マイナートラブルの洗い出しを徹底して行うことで、クルマの熟成と信頼性の向上を図り、パフォーマンスアップを果たしています。



フロント



リア



参戦車両とチームメンバー

### 【ランドクルーザー200 ダカールラリー仕様車スペック】

| 項目           | スペック内容   |
|--------------|--|
| ベース車両型式      | VDJ200   |
| エンジン型式       | 1VD-FTV型   |
| 総排気量         | 4,461cc  |
| 全長 / 全幅 / 全高 | 4,950mm / 1,910mm / 1,970mm                            |
| 最高出力 / 回転数   | 180kW(245ps) / 3,800r.p.m.                             |
| 最大トルク / 回転数  | 726N・m(74kgf・m) / 1,200~3,600r.p.m.                    |
| ステアリング       | ラック & ピニオン式  |
| サスペンション      | 前/ ダブルウィッシュボーン式独立懸架コイルスプリング<br>後/ トレーリングリンク車軸式コイルスプリング |
| ショックアブソーバー   | リザーバータンク付単筒ガス式   |
| ブレーキ         | 前後ベンチレーテッドディスク   |
| トランスミッション    | 5速マニュアルトランスミッション                                       |
| タイヤサイズ       | 285 / 70R17  |
| ホイール         | マグネシウム鍛造 17インチ×7.5J                                    |
| 駆動方式         | 4輪駆動(フルタイム4WD)   |

(上記スペックは1号車、2号車共通)

### 3.参戦カテゴリー

#### 市販車部門ディーゼルクラス(下表太枠部)

|          | 部門  | クラス   |
|----------|-----|-------|
| オート(自動車) | 市販車 | ディーゼル |
|          |     | ガソリン  |
|          | 改造車 |       |
| トラック     |     |       |
| 2輪(バイク)  |     |       |

※TLCはガソリンクラスを含めた市販車部門での優勝を目標に参戦します

### 4.大会概要 (ダカールラリー2017 パラグアイ・ボリビア・アルゼンチン)

1979年より開催されているダカールラリーは、2017年大会で39回目の大会となります。今大会も南米大陸を舞台に、パラグアイ・ボリビア・アルゼンチンの3カ国にわたり、総走行距離約9,000kmに及ぶ戦いが繰り広げられます。

パラグアイでの開催は、2009年に南米大陸へ舞台を移して以来、初めての開催となります。

2017年1月2日、パラグアイの首都アスンシオンをスタートし、アルゼンチン国境を目指して南下した後、ボリビアの首都ラパスを目指して北上します。ボリビアに入国後は、標高3,500mもの高地を走行し、1月8日に休息日を迎えた後、後半戦がスタートします。

標高4,000mを超えるアンデス山脈を南下し、ウユニ塩湖の脇を通り抜けてアルゼンチンに入国。フィアンバラ周辺の砂漠ステージを抜け、1月14日にブエノスアイレスで全12ステージのゴールを迎えます。

今回もハイスピードコースあり、砂丘コースもあり、選手に気を休める間を与えない厳しい戦いとなることが予想されます。



### 5.バイオディーゼル燃料(BDF)での参戦

#### (1)使用するBDFについて

BDFとは植物性油を原料に作られた軽油の代替燃料であり、TLCは2007年大会からBDFでの参戦に挑戦し、2009年大会からは自ら集めた廃食油から精製したBDFでの参戦に取り組むことで循環型社会の仕組みが広がっていくことを期待しています。

原料となる廃食油はTLCのラリー参戦活動に賛同いただいたスポンサー企業各社、ならびに小中高校をはじめとする近隣地域の皆さま、当社従業員などから提供を受けています。

また、株式会社デンソー(愛知県刈谷市)が取り組む微細藻類にCO2を吸収させて生産した藻油も加え、太田油脂株式会社(愛知県岡崎市)の協力により精製されたBDFで走破します。

#### (2)BDFの環境性能

TLCはダカールラリーの全行程をBDF100%で走破します。これにより総走行距離を軽油で走行する場合に比べ、CO2排出量を約60%軽減することが可能となります。

#### (3)TLCのBDFでのダカール参戦暦

| 開催年                    | 2007(*1)     | 2008     | 2009         | 2010 | 2011     | 2012-2015 | 2016 |
|------------------------|--------------|----------|--------------|------|----------|-----------|------|
| 参戦車両                   | ランドクルーザー-100 |          | ランドクルーザー-200 |      |          |           |      |
| BDF使用台数<br>(使用台数/出場台数) | 1/3台         | 大会<br>中止 | 1/2台         | 2/2台 | 2/2台     | 2/2台      | 2/2台 |
| BDF混合比率                | 20%          | -        | 20%          | 20%  | 100%(*2) | 100%      | 100% |

\*1 2007年大会は市販のBDFを使用

\*2 2011年大会は一部区間のみを軽油で走行

## 6.過去の戦歴

| 開催年  | 1995-2004  | 2005        | 2006 | 2007     | 2008        | 2009 | 2010 | 2011        | 2012 | 2013        | 2014 | 2015 | 2016 |
|------|--|-------------|------|----------|-------------|------|------|-------------|------|-------------|------|------|------|
| 使用車両 | ランドクルーザー 80(1995-1998)<br>ランドクルーザー100(1999-2004) | ランドクルーザー100 |      |          | ランドクルーザー200 |      |      |             |      |             |      |      |      |
| 成績   | 市販車部門ディーゼルクラス<br>優勝 7回                           | 市販車部門<br>優勝 |      | 大会<br>中止 | 市販車部門<br>優勝 |      |      | 市販車部門<br>2位 |      | 市販車部門<br>優勝 |      |      |      |
| 備考   | アラコとして参戦   | トヨタ車体として参戦  |      |          |             |      |      |             |      |             |      |      |      |

6連覇

3連覇

以上

世界中の暮らしに笑顔と感動をお届けする“もっといいクルマづくり”



**トヨタ車体株式会社**

〒448-8666 愛知県刈谷市一里山町金山 100 番地

TEL.0566-36-2129

[www.toyota-body.co.jp](http://www.toyota-body.co.jp)